

盗んだ通帳から現金引き出す

# 防犯カメラがバツチリ

銀行に据えつけられた防犯カメラが犯人をバツチリ。そして二用。盗んだ預金通帳を使って広島市内の銀行から現金を引き出した男が、防犯カメラの写真が動かぬ証拠となって海田署に逮捕された。追及の結果、十五日までに計十六件、百五十二万円余にのぼる預金の引き出しを自供し、窃盗や有印私文書偽造、同行使、詐欺の疑いで広島地検に送検された。



払戻請求書に記入してカウンターへ(左)、カメラに近づいて横山の人相もバツチリ(いずれも広島信用金庫銀山支店内)



逮捕されたのは山県郡高貴村生まれ、無職横山海文(三三)。銀行の防犯カメラの写真によって逮捕されたのは県下で第一号。調べでは、横山は八月二十日午前九時ごろ、広島市瀬野川町中野、久保田鉄工所寮の田中正義さん(三〇)の部屋から田中さんの預金通帳(額面二十九万九千九百円)と印鑑を盗み、同十時半ごろ、同市銀山町の広島信用金庫銀山支店

## 広島の銀行 (男追送検)

(今田支店長)で二十九万円を引出したのをはじめ、十月三十一日まで、同市内や安芸郡海田町内で盗んだ四通の預金通帳を使っ

いた。このほか八月十一日から十月末までに北九州市や広島市内で十一件、四十万円相当の盗みをして、いたことを自供した。田中さんが預金通帳などを盗まれたことに気づいて預金先の広島信用金庫に連絡した時には、すでに銀山支店で引き出されていた。このため同支店に据え付けられていた自動撮影の数台の防犯カメラのうち、カウンター付近を写すカメラのカラーフィルム連続撮影を現像した。その結果、払戻請求書用紙に金額などを書き込んだ

が後、この用紙を持ってカウンターに向かう横山が写っていた。当時、応対した行員が確認したこの横山の写真と請求書用紙に残っていた指紋が動かぬ証拠となって指名手配。十一月三日に逮捕された。防犯カメラが犯人逮捕に活躍したのは県内では初めてで、今田支店長は「犯人によって預金引き出されてしまったことは残念だ。しかし防犯は金融機関の責務で、防犯カメラが犯人逮捕に役立ちホッとしている」と話している。